

令和2年度 学校評価実施報告書

学校番号 59 学校名 千葉県立柏中央高等学校 課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	①授業評価アンケートの中で「ねらいや目標が明確」「生徒相互の学び」83.5%(5.7ポイント上昇)。重点教育目標に沿って教職員が実践している。初任・フォローアップ等の研究授業を実施。 ②小論文指導78名、面接練習96名、DVD講座申込55名(1年)、英語検定受験者数442名、合格者2級20%。ALT英語集中講座2日間実施。(19名)、3年模試希望者(5回、延べ718名)。学校HPを活用し、生徒の日常生活を配信、緊急時の対応として連絡メールを活用した。 ③部活動加入率(4月81%)。 ④タイムカード及びによる毎月出退勤時間の把握。超過勤務月80時間を超える教員の指導。主な理由は、大会参加のための休祝日の部活動指導及び教育実習の指導。 ⑤コロナ禍のためミニ集会・各種行事が実施できなかったが、可能な限り連携して実施した。 ⑥体育施設は毎月、その他施設の安全点検を学期に1回実施。修繕か所は随時改修。体育館雨漏りの補修、滑り易い床の改修。学校評価「学習環境の整備」79.1%。 ⑦複数回の不祥事防止研修の実施。	①教科・科目によりばらつきがあり、引続き改善に向け、学力向上委員会を中心に教科・学年と連携し、学習における明確な目標の提示とアウトプット、評価等の工夫を進め、授業と研修の充実を図り、ねらいを明確にした授業の実践を目標にする。目標申告提出時に授業等チェックリストを提出。 ②指導内容の充実と職員負荷の分散。図書情報部による学校HPの更新を推進する。検定合格のための取組を強化。 ③入部の際の各部活動の状況説明や3年間を見据えた指導計画。部活動のガイドラインに従った毎月の活動計画の作成。 ④部活動のガイドラインの遵守や教員の意識改革と生徒・保護者の意向の理解を進める。 ⑤ミニ集会参加者や授業公開、柏王祭来校者による外部評価をこれからも取り入れていく。 ⑥トイレ等の破損個所・照明・外壁の補修改善。 ⑦標語やポスター等の掲示と日々の呼びかけ。今後も適宜不祥事防止研修を実施。
学習指導	①7・12月に全科目について生徒による授業評価を実施、「授業に集中」89.8%。12月に学校評価を実施、「授業に意欲的」87.4%・「学力のつく授業」83.5%・「家庭学習習慣」55.2%。 ②管理職による授業観察を年2回以上実施。授業後に助言。 ③授業力向上を目指した他校への授業参観5名(小1・中3・特1)。 ④模擬試験の分析に係る職員研修会を実施。休校中における課題の配信、Classiによるアンケートの実施。 ⑤柏王ゼミ1月現在(2学期12講座、夏季休業中17講座、3学期2講座)、英語検定補習を実施。	①授業内容や導入・展開方法の工夫と各授業における具体的な学習内容の提示と明確な目標の提示及びアウトプットを心掛けた授業の実践。教育課程の見直し。 ②授業公開の継続と授業参観者を増加させる。 ③他校を参観する若手教員を増加させるとともにアクティブラーナーの活用を促進。 ④教科会の活性化を図り、学力向上委員会・進路部を中心に分析した結果の課題を具体的方策として実践する。Classiによる課題の配信と定着。 ⑤基礎科目の柏王ゼミの安定開設。
生徒指導	①担任が年間2回程度生徒面談を実施、保護者の都合により休日にも実施。 ②12月にセクハラ・体罰アンケートを実施。聞き取りを丁寧に行い解決につなげる。 ③思いやり登校違反者の増加、遅刻者数は減少。登下校時の交通マナーに関する苦情がある。学校評価「ルールやマナー・挨拶」(生徒94.1%、保護者92.3%、職員73.9%) ④特別支援・教育相談委員会を学期に1回、ケース会議やミーティングを随時実施。カウンセラーによる講演会を実施。 ⑤整容指導を各学期始めに1回実施。 ⑥ワンポイント危険回避の防災訓練を実施。各学期に生徒職員用の備蓄品を確認。救急講習の実施。	①ゆとりのある個別面談や保護者面談期間の設定。 ②丁寧な言葉遣いや身体接触の伴う指導を避けるなど、年度初めからの注意喚起。 ③交通ルールの遵守とマナーや思いやりに関する指導の強化。職員自らが模範となって実践。 ④課題を抱える生徒に係る担任や学年職員の共通理解と指導方法を研修。外部指導者による研修会の実施。 ⑤生活指導方法や内容の改善・見直し・共通理解。指導を通して保護者と協力し合えるように職員への指導を徹底。 ⑥実効性のある危機管理や危険回避、人命救助等を学ぶ機会を確保。ふるさと協議会や避難区域住民との連携と県立学校の運営方針の共通理解。
キャリア教育	①進路ガイダンス(生徒向け：1年1回、2年3回、3年4回)学校評価「進路指導ができています」85.9%。 ②進路部インターンシップ32名(1年)。 ③職員全体で面接指導。学校評価「協力・組織的業務」職員回答86.9%。	①職業理解等の様々なテーマに関する確実な情報提供と進路説明会を実施。生徒の進路希望に合わせた行事や学習機会の提供と個別対応。 ②高大接続に係る情報共有と職業選択に係る適性や能力を育成するキャリア教育の充実。 ③校務の効率化と部長主任による組織運営、情報の共有化と蓄積。連携・協力意識の強化。
地域連携	①地域の福祉施設での演奏会や動画を提供。インターンシップ参加。小学生、中学生の受け入れ。 ②防災や防犯活動への協力	①教職員の負担軽減。

学校評価の公表について (手段・時期・内容等)	・3月に、本校ホームページに概要を公表する。
----------------------------	------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善方策)
学校経営	<p>①学校評価アンケートの集計結果より「学校生活を楽しんでいる」の項目において、生徒、保護者とも概ね高い評価が得られていて安心することができた。引き続き生徒のために、取り組んでいってほしい。</p> <p>②ホームページが見つらかったり、内容の古いものがいつまでも掲載されていることがある。先生方も大変だと思うが、できるだけこまめに更新をお願いするとともに、学校の様子や雰囲気を適宜発信してほしい。</p> <p>③部活動の指導において、先生方は大変熱心に指導していただいている。その反面、部活動の計画的な休みや下校時間の徹底を図るなど、生徒のゆとりにもう少し配慮をお願いしたい。</p>	<p>①学校教育目標実現のために、本校生徒の課題を職員で共通理解を図り、指導に取り組んでいる。引き続き、生徒の良さや学校の魅力を更に高められるよう職員が一丸となって取り組んでいくよう指導を行う。</p> <p>②図書情報部を中心に、輪番制でホームページの更新を行っている。また、部活動等においては、顧問の先生によって更新を行っているが、意識の差が見られるので改善していきたい。また4月からは、ホームページのひな形を一新し、とても見やすくなるよう現在作業を進めている。</p> <p>③文武不岐の理念の上に立った、効果的・効率的部活動の運営をガイドラインに基づく年間計画の遵守及び教員の意識改革によって推進し、併せて教員の働き方改革を推進する。</p>
学習指導	<p>①学習指導に関して、生徒は大変真面目によくやっている。アンケートの集計結果からも「授業に意欲的に取り組んでいる」の項目において、生徒、保護者とも高い評価が得られている。しかし反面「家庭での学習習慣」の項目が全体的に低いのが気になる。</p> <p>②小中学校等にも若手を中心に授業を見に来てくれた。お互いの交流をさらに進めてほしい。</p>	<p>①授業内容や導入・展開方法の工夫と各授業における具体的な学習内容の提示と明確な目標の提示及びアウトプットを心掛けた授業の実践。さらに多くの授業においてICTを活用した授業が実践され、視覚でうったえる授業を実施することができた。次年度においても授業改善を図った教員相互の授業公開週間を実施し、お互いの授業力の向上を図る。また、他校種との交流では、刺激を受けることが多く、若手教員を中心に積極的に公開授業に参加させる。</p> <p>②生徒の自宅学習時間が伸びない。学習動画の活用等を促進する対策として、学校の授業や教科指導との連携を図りながらClassiによる課題の配信と定着を図る。</p> <p>③アクティブラーナーの有効活用に向け、動画の紹介等の工夫する。</p>
生徒指導	<p>①挨拶しない先生がいると学校評価にあるが、そこは改善するべきである。元気に挨拶できない生徒もいるということだが、地域で見ている限り、生徒たちは挨拶もできるし、大変良い子たちばかりだと感じる。近隣に小中学校もあるので、ぜひ今後も先輩として模範になる生徒に成長していってほしい。</p> <p>②登下校のマナーについて地域から注意を受けるということだが、この地域は交通の便が悪く、生徒数も多いことあるので致し方ない面もある。</p>	<p>①年度初めなどに、いじめなどの人権侵害からお互いを守ることを、相互尊重の精神、挨拶や規律ある集団形成など生徒指導の目的を明確かつ分かりやすく説明し、生徒が主体的に生活態度の改善や規律を守るよう工夫する。また職員は、生徒の良さを引き出し伸ばすために、個々の生徒理解と研鑽に努め、模範となる言動を心がける。</p> <p>②地域の声に耳を傾け、生徒理解を促進する。</p> <p>③生徒会活動を生徒の主体的活動の機会として生かすよう、職員と生徒が協力して学校改善を進める体制をつくる。</p>
キャリア教育	<p>①今年度はコロナ禍ということもあり、生徒はボランティアやインターンシップなど、例年に比べて取組が少ないのは非常に残念である。高大接続改革の影響やキャリアパスポートの実施に伴い、地域とつながる良い機会だと思うので、積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>①総合的な探究の時間等を活用してSDGsなどの課題の理解を促進し、広く社会への貢献について考えさせることで、生徒の勤労観・職業観・進路意識を高める。</p> <p>②キャリアパスポートを受けて中学校からの学習を発展させて、高校での指導に取り組んでいく。</p> <p>③生徒とともにSDGsと探究的学習について学ぶ機会を作り、生き方教育と進路指導の連携について教員の意識改革を図る。</p>
地域連携	<p>①コロナの影響で地域の文化祭等も中止となり、非常に残念だった。ぜひ今後も地域とのつながりを強めるためにも積極的に参加してもらいたい。</p>	<p>①本校の教育活動を活性化し、アピールするための重要な活動として地域連携を進める。</p> <p>②地域の課題や地域の良さを生徒が考え学ぶ機会を、今後の教育活動の中に増やしていく。</p> <p>③広域の生徒は、地域によって育つ。</p>